平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月9日

上場会社名　株式会社 田中化学研究所　　上場取引所　大
コード番号　4080　URL　http://www.tanaka-chem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役　社長執行役員　(氏名) 田中　保
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 小林　芳彰　TEL 0776-85-1801

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,065	△25.7	△188	―	△217	―	△238	―
23年3月期第2四半期	9,512	25.0	298	50.2	267	44.4	222	55.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△18.84	―
23年3月期第2四半期	17.58	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,875	6,563	36.7
23年3月期	17,723	6,896	38.9

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　6,563百万円　23年3月期　6,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	8.00	8.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△32.6	△1,100	―	△1,200	―	△1,200	―	△94.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	12,650,800 株	23年3月期	12,650,800 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	949 株	23年3月期	949 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	12,649,851 株	23年3月期2Q	12,649,904 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基づくものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は見通しと異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当社の販売数量は98%以上を二次電池用正極材料が占めており、同電池市場への販売動向が当社の業績に大きく影響いたします。

当第２四半期累計期間における当社の二次電池向け正極材料の販売数量は、前年同期比で17.5%減少しました。

リチウムイオン電池分野では、当社の主力製品である三元系（ニッケル・コバルト・マンガン複合酸化物）の主要用途であるノートパソコン市場が、スマートフォンやタブレットＰＣなど新しいアプリケーションの大きな伸びや欧米諸国の経済不安を背景にして、その伸びが鈍化しており二次電池メーカー各社は当第２四半期より円筒型リチウムイオン電池の生産調整・在庫圧縮を実施しております。

また、二次電池メーカー各社のグローバル市場での激しいシェア争いは継続しており、想定を超える円高の影響により、当社の販売先である国内二次電池メーカーも苦戦を強いられ販売量が減少した結果、当社の受注量にも影響が見られるほか、海外二次電池メーカーにおける当社製品と新興国を中心とした正極材料メーカーの製品との競合も激化し、当社の受注量に影響を与えております。

この結果、当第２四半期累計期間における三元系製品の販売数量は、前年同期比で21.4%の減少となりました。

ニッケル水素電池分野では、環境対応車向け正極材料が、本年３月に発生した大震災で大きな影響を受けた自動車メーカーのサプライチェーンの回復に伴い、同対応車向け正極材料の受注が当第２四半期より大幅に改善し、当第２四半期累計期間における販売数量は、前年同期比で26.8%増加しましたが、民生向けではリチウムイオン電池へのシフトが依然として続いており、当第２四半期累計期間の販売数量は、前年同期比で30.0%減少しております。

以上の結果、売上高7,065百万円（前年同四半期比25.7%減）、営業損失188百万円（前年同四半期は営業利益298百万円）、経常損失217百万円（前年同四半期は経常利益267百万円）、四半期純損失は238百万円（前年同四半期は四半期純利益222百万円）となりました。

上記の通り、当社製品の販売先である二次電池メーカー間のシェア争いや、恒常的な円高水準による海外市場での当社製品と海外製品との競合などに起因する当社製品の受注量への影響は、当第３四半期以降も継続するものと見られます。

二次電池正極材料市場は、環境対応車や携帯型情報端末など新たな用途での需要の増加により、将来の更なる市場拡大が期待されております。当社は固有のコア技術を基盤とする研究開発型企業として、引き続き精力的に取り組んでまいります。

（ご参考）

（ニッケル国際相場：円換算）　（単位：円／ｋｇ）

	４～６月平均	７～９月平均	10～12月平均	１～３月平均
24年３月期	2,012	1,742	－	－
23年３月期	2,093	1,840	1,975	2,242
22年３月期	1,269	1,676	1,590	1,830

（コバルト国際相場：円換算）　（単位：円／ｋｇ）

	４～６月平均	７～９月平均	10～12月平均	１～３月平均
24年３月期	3,349	2,971	－	－
23年３月期	4,447	3,843	3,448	3,653
22年３月期	3,326	3,947	3,956	4,411

※　ニッケル　LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
　　コバルト　LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

（２）財政状態に関する定性的情報

当第２四半期会計期間末における総資産は前事業年度末比151百万円増加し、17,875百万円となりました。その主な要因は売上債権が376百万円、有形固定資産が1,469百万円減少した一方、現金及び預金が2,275百万円増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末比484百万円増加の11,311百万円となりました。その主な要因は設備関係支払手形が3,477百万円、仕入債務が155百万円減少した一方、借入金が4,530百万円増加したこと等によるものであります。

なお、純資産は前事業年度末比332百万円減少の6,563百万円となり、自己資本比率は36.7%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して2,275百万円増加し、当第２四半期会計期間末における資金は、3,559百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、974百万円の増加（前年同四半期は3,155百万円の増加）となりました。これは主に税引前四半期純損失247百万円に対し、減価償却費730百万円、運転資本の減少による資金の増加580百万円があったためであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、3,133百万円の減少（前年同四半期は642百万円の減少）となりました。これは設備投資を中心とする有形固定資産の取得による支出4,825百万円に対し、補助金の収入1,694百万円があったためであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、4,430百万円の増加（前年同四半期は1,366百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の減少400百万円、長期借入金の期日弁済399百万円に対し、長期借入金の増加5,330百万円があったためであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年５月12日に公表いたしました平成24年３月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年10月25日に発表しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,284,137	3,559,933
受取手形及び売掛金	1,933,012	1,556,733
商品及び製品	751,668	371,570
仕掛品	742,163	745,096
原材料及び貯蔵品	212,329	229,564
その他	103,096	172,593
流動資産合計	5,026,408	6,635,491
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,082,428	1,986,828
機械及び装置（純額）	3,639,298	3,425,597
建設仮勘定	5,964,184	3,767,630
その他（純額）	1,615,862	1,651,795
有形固定資産合計	12,301,774	10,831,852
無形固定資産	50,078	40,993
投資その他の資産		
その他	345,710	367,559
貸倒引当金	△451	△451
投資その他の資産合計	345,259	367,108
固定資産合計	12,697,111	11,239,954
資産合計	17,723,520	17,875,446
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,968,150	2,812,544
短期借入金	500,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	733,200	2,041,300
未払法人税等	12,169	8,621
引当金	101,480	113,304
その他	5,174,505	1,261,125
流動負債合計	9,489,505	6,336,895
固定負債		
長期借入金	1,008,700	4,631,000
引当金	142,323	159,732
その他	186,626	183,915
固定負債合計	1,337,649	4,974,648
負債合計	10,827,154	11,311,543

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,086,246	2,086,246
資本剰余金	2,703,889	2,703,889
利益剰余金	2,036,259	1,696,716
自己株式	△1,982	△1,982
株主資本合計	6,824,411	6,484,868
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71,953	79,033
評価・換算差額等合計	71,953	79,033
純資産合計	6,896,365	6,563,902
負債純資産合計	17,723,520	17,875,446

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	9,512,363	7,065,259
売上原価	8,472,074	6,407,479
売上総利益	1,040,289	657,780
販売費及び一般管理費	741,582	846,158
営業利益又は営業損失（△）	298,707	△188,378
営業外収益		
受取配当金	1,314	1,467
受取家賃	1,744	1,138
その他	9,497	2,961
営業外収益合計	12,557	5,566
営業外費用		
支払利息	24,373	21,342
コミットメントフィー	11,907	8,858
その他	7,348	4,803
営業外費用合計	43,628	35,004
経常利益又は経常損失（△）	267,635	△217,816
特別利益		
補助金収入	108,798	1,694,038
特別利益合計	108,798	1,694,038
特別損失		
固定資産除却損	35,929	9,250
固定資産圧縮損	98,695	1,694,038
その他	24,358	20,573
特別損失合計	158,983	1,723,863
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	217,449	△247,641
法人税、住民税及び事業税	2,668	2,680
法人税等調整額	△7,631	△11,977
法人税等合計	△4,962	△9,297
四半期純利益又は四半期純損失（△）	222,412	△238,343

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	217,449	△247,641
減価償却費	881,136	730,876
引当金の増減額（△は減少）	22,062	29,233
固定資産除却損	35,929	9,250
固定資産圧縮損	98,695	1,694,038
補助金収入	△108,798	△1,694,038
売上債権の増減額（△は増加）	833,416	376,279
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,854	359,930
仕入債務の増減額（△は減少）	1,046,660	△155,606
その他	156,031	△110,813
小計	3,184,438	991,508
利息及び配当金の受取額	1,477	1,547
利息の支払額	△26,239	△12,859
法人税等の支払額	△3,746	△5,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,155,930	974,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△748,310	△4,825,918
補助金収入	108,798	1,694,038
その他	△3,044	△1,398
投資活動によるキャッシュ・フロー	△642,556	△3,133,279
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△500,000	△400,000
長期借入れによる収入	－	5,330,000
長期借入金の返済による支出	△766,600	△399,600
配当金の支払額	△99,936	△100,030
その他	△8	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,366,545	4,430,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,874	3,729
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,144,953	2,275,796
現金及び現金同等物の期首残高	1,571,081	1,284,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,716,034	3,559,933

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。